

# ろうさん彩登

**埼玉県勤労者山岳連盟**  
**発行責任者 武笠真次**  
**編集 小松勝浩**

〒330-0063  
 さいたま市浦和区高砂4-1-5  
<http://www.tozan.justhpb.jp/>

## 8号目次

- P1: 年頭挨拶・理事長 武笠真次
- P2: お知らせ
- P3: 県連の動き
- P4: 登山学校「総合学習」参加報告
- P5: 救助隊「雪上搬出訓練」参加報告



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

埼玉県勤労者山岳連盟 理事長 武笠真次



埼玉労山会員の皆様にはご家族皆様とともに清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。併せまして旧年中のご愛顧に心から感謝申し上げます。

大震災から三年目を迎えますが、震災被害等により生活環境が大きく変わられた会員、ご家族もいまだいらっしゃることと思います。

被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。理事会では今年も3月中旬(13~15日・定員30名・中型バス)に石巻支援を企画しております。少しでも会員の皆様のご参加と友人のお誘いを頂きまして現地の漁業関係のお手伝い、体力的に無理だと思う方は現地の被災状況を見て頂き、食して復興の一助となって頂ければ嬉しい所存です。

お互いを思いやる心、相互の助け合いの精神をいっそう大切に活動の推進をめざすと共に感謝の気持ちを忘れずに有難うと素直になれる自分でありたいと願います。

「明るく、楽しく、安全に」をモットーに好きな山に登り続けるためには日頃から医師によるメディカルチェックを受け自身の健康状態を知ることが最善です。

今年度も救助隊による訓練(机上・実技)を通じて山のピンチから抜け出るために、セルフレスキューとチームレスキューを学び、登山学校を通じて自分の安全登山のチェックをして山の無事故・無災害をめざします。「安全登山をめざすための計画から下山まで」。

計画段階からの遭難などは山仲間として普段からのコミュニケーション(人間関係の形成)で相談や十分な話し合いを行い、綿密な調査・準備をして計画書の立案をする。

計画書の無届け山行の撲滅や下山報告をきちんとする習慣、下山遅れが発生した場合は会のなかでなぜ? 下山遅れが発生したのか検討会を開いて頂き、原因は何か、対策はどうするかなど話し合ってもらえれば幸いです。

山行中、ロケーションの良い場所に出たら、会に現在の時刻、通過地点など携帯メール等を利用して連絡して置くのも手かもしれません。GPS機能があれば緯度、経度なども知らせて置く等、会の山行部会や運営委員会等でチェック方法を検討することも必要かと存じます。 2面につづく

## 1面より続き

登山計画書の書式に提出日と受理日を記載、地図(ルート図)の添付等のチェックが「新特別基金交付申請」時に審査対象なので重要です。

事故一報は30日以内届いていなければ交付されませんので気をつけて処理をしましょう。

「埼玉労山の年はじめ仕事」

1月19日(日)午前、武蔵浦和コミセンに於いて遭難防止・安全教育担当者会議でヒヤリハット事例の検討労山サポートシステムの活用について会で経験した事故事例につて、情報の共有をはかる。

1月19日(日)午後、与野本町コミセンに於いて第2回評議会。議題内容について事前に貴会内で討議頂き意見を持って、ご出席下さい。また、ブロック会議では、事前に議長(西部・中部)、書記(南部・北部)の人選をして頂き、担当して頂く方の承諾をお願いします。

「埼玉労山第47期総会議題」3月23日(日)

a. 2013年県連活動報告・専門委員会報告

b. 2014年活動方針(案)・専門委員会活動方針(案)

c. 総会代議員定数確認

d. 全国連盟第31回総会の議題・2月15日(土)~16日(日)晴海グランドホテル、第1号議案・第2号議案他(総会への要望(第30期活動総括と第31期活動方針、個人会員制度規約改正案など)皆の埼玉労山ホームページの更新・・・ぜひとも会員みなさまから積極的な参加型のホームページの実現を。そして会の紹介など会の活性化のためにも常々更新をお願いします。

評議会や総会に向けての準備 今後も山の積極的な推進のため、専門委員会など諸活動を継続発展させましょう。

理事会を代表し、埼玉労山会員の声を反映し、全力で奮闘することを誓い、明るく、元気のある一年を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 2013年度第2回評議会開催のお知らせ

日時：1月19日(日)午後1時30分開会(午後1時~受付)

場所：与野本町コミュニティセンター 第1,2会議室

さいたま市中央区本町東3-5-43 TEL048-853-7232

・JR埼京線与野本町駅下車 徒歩5分 ・JR京浜東北線与野駅西口より徒歩25分

## 第17回遭難防止・安全教育担当者会議開催のお知らせ

日時：1月19日(日)午前9時受付/午前9時30分開会~午前11時30分頃閉会予定

場所：武蔵浦和コミュニティセンター 8F 第3会議室

さいたま市南区別所7-20-1 TEL048-844-7215・JR武蔵浦和駅西口より徒歩1分

## 天気の見方

天気の事を少し勉強してみませんか?  
山行に関わる天気が分ると更に楽しく、危険からも回避できます。  
山岳気象予報士 猪熊隆之氏 からたくさん学びましょう!!

日時 平成26年1月26日(日)

受付開場/13:00

開演/13:15--終了16:45

会場 さいたま市東大宮コミュニティセンター(JR東大宮西口徒歩3分)

参加費 500円

定員

60名

講師 猪熊隆之氏

申し込み先

ハイキング担当

佐藤久子e-mail xdwgc135@ybb.ne.jp

## 県連の動き

### 委員会活動報告

#### 全国連盟活動

12/24新特別基金運営委員会 埼玉県連 3 件交付決定、2/15～16  
全国連盟総会代議員 武笠、木村、加納(2/15傍聴)

#### 県連全体活動

カレンダー完売・12/24安全対策基金申請済み  
1/25 日本山岳会埼玉支部安全登山委員会講演会 埼玉労山後援  
会員数集計完了 女性312名 男性353名 計665名(28名増)

#### 事務局

#### 機関紙

12/11彩登7号/発行 記事・登山学校、岩ネット、理事会

#### ホームページ

12/4石巻支援活動報告、中部ブロック読図山行報告掲載12/10南部  
ブロック交流バスハイク参加報告、安全登山講演会報告掲載

#### 女性

2/2安全登山講習会「ツェルトの張り方」 現在参加者 27 名  
定員大幅超過のため、講師の救助隊と内容について調整中

#### ハイキング

ハイキング講習会「天気図の見方」26/1/26(日)13:00受付  
13:15-16:45猪熊隆之氏 各会に参加呼びかけをお願いします。

#### 自然保護

3/14～16石巻支援活動 30 名規模を予定  
千葉労山と調整の上、年明け早々に告知

#### 遭難防止・安全教育

1/19遭難防止・安全教育担当者会議 議題にて

#### 財政

連盟費 後期分 1 団体除き完納

#### 登山学校

「12/7～8は総合講座 荒船山・楸柄山(裏妙義国民宿舎泊)  
12月総合学習登山 21名参加(スポット参加1)運営委員10名

#### 救助隊

12/8雪上搬出訓練 6 名参加、2/4役員会、2/22～23関東ブロック深  
雪搬出訓練 5 名参加、2/2女性委員会講習会 講師 4 名派遣

#### 岩ネット

12/14(土)日和田山にて実施 6 名参加  
**次回: 1/25日(土)日和田山 予定**

### ブロック活動報告

西部 = ブロック会議 1/9 2/23スノーシュー交流ハイク  
南部 = ブロック会議 12/26 浦和市民コミセン  
中部 = ブロック会議 1/15(水) 大宮シーノ  
議題3/15～16の雪山交流山行計画  
北部 = ブロック会議 特になし





## 登山学校

第7回『総合学習』 第18期登山学校受講生 小林 和文 記

## &lt;12/7総合学習&gt;

初日は鍬柄岳での学習という事で、岩場の登山や急斜面の懸垂下降の練習など「山での救急法」や「岩登り」講座を復習する内容でした。2班に分かれ、先に鍬柄岳の登山をするグループと懸垂下降・トラバースの練習をするグループに分かれ学習する形となり、1班は先に懸垂下降を行うグループとなりました。講師の方々がロープでコースを作り、セルフビレイを行いながら落ち葉と急勾配で足場の悪い斜面をトラバースし、ムンターヒッチで懸垂下降しました。一度講習で行っていた事もあり斜面を降りる事にそれほど恐怖心もなく、しっかりと足場を確認しながら下降する事が出来ました。しかし、ムンターヒッチに時間を取られてしまう事が多く、急斜面で冷静になれる事と学習した事をしっかり復習しなければという事を改めて思い知らされました。午後からは、前半グループと交換で鍬柄岳の登山です。ほとんど岩場の登山でしたが鎖がついているのでセルフビレイを行いながら、ゆとりのある登山となりました。所々で広がる下界の風景や上州の山並みは、とても雄大で晴天の天気とあいまって本当に山の魅力を満喫できました。また、カラビナを使用しながら登山する事は個人的に初めての経験だったのでカラビナが鎖と岩で傷つく事に少し満足感も感じました。15時30分頃バスに乗車し、宿舎である「裏妙義」に向かいました。予定では机上講習がありましたが日中の講習が長引いた影響で中止となりましたが交流会の際にテーピングの講習や講師の方々に気兼ねなく質問できた事がとても良かったです。

## &lt;12/8総合学習&gt;・山行記録

内山大橋→荒船不動尊→星尾峠→経塚山→荒船山山頂・昼食→鱸岩→内山峠→下山

2日目は経塚山・荒船山の山行と初日とは違い歩く距離の少し長い工程となりました。荒船不動尊を目指す途中道では、経塚山の霧氷も確認出来、今から向かう山にワクワクした気持ちとなりました。地図を確認しながらコンパスをふり、上空の雲を観察したりと今までの講習を振り返りながら登山を行う事で山をもっと知ろうという気持ちになりました。山道は、霜柱や氷の張っている所もありましたが思いのほか歩き易く、経塚山でも軽アイゼンを使用する事なく下山出来ました。経塚山での霧氷の世界はとても美しく、空の青と霧氷の白のコントラストが素晴らしい景色でした。荒船山の山頂で昼食を取り、そこから鱸岩に行きました。鱸岩の迫力はとても凄く、断崖に立つと吸い込まれそうな気すら感じました。鱸岩からの下山ルートは、多少の岩場はありましたが終始なだらかな道が続き、少し登ってまた降りるを繰り返している内に少しずつ下山するという様なルートとなっていました。「総合学習」の2日間とも晴天に恵まれ、とても素晴らしい山行となりました。今までの復習も含めての講座となりましたが個人的には、山の事をもっと知りたいと思う事が出来た講座でした。18期の受講生で泊りの学習は、夏の日和田山以来でしたがとても楽しいものとなりました。次回の冬山講座が18期最終となる事が残念ですが、次回もとても楽しみです。以上



## 救 助 隊



## 救助隊訓練報告

## 救助隊雪上搬出訓練報告

三郷山の会 渡辺敦司 記

参加者：柴山(パル・ブランチ)・安田(新座山の会)・久保(新座山の会)

・柿田(パル・ブランチ)渡辺(三郷山の会)・長谷川(大宮労山)

場所：谷川岳 白毛門登山口周辺 集合場所：土合駅 午前 8:00

内容：工作班、搬出班、後方班体制の訓練

8:00 土合駅集合 構内にて身支度・ビーコンチェック

8:30 出発 8:45 土合橋付近にてシートに雪を詰め、梱包練習

10:00 白毛門方向へ移動し、斜面にて、2班に分かれ、引き揚げ・引き降ろし(2ピッチ)

13:00 撤収～駅へ移動 14:00 解散

予想していたよりも雪が少なく、20～30cm程度しか積もっていなかった。梱包作業では、手袋をはめた状態でのロープやスリングの扱い(特にシートベント)が大変だった。また、スリングの結び目の位置なども考えて結ばないと、次の工程で不具合が生じ、やり直す破目になるなど、焦っていると忘れてしまいそうな事が多々あった。カウンターウェイトでの引き揚げということで、救助者1人に対しウエイト2人で行ったのだが、介助者にストレッチャーの上部を少し持ち上げてもらい、抵抗をへらさないと男二人がかりで体重をかけても思ったほど動かなかったのには驚いた。介助時のポジションだが、ロープとストレッチャーの接点からビレイをとった場合、引き揚げ時は頭側なので特に気にならないが、引き下げ時は中途半端な位置になり進行方向の舵取りがやりにくく感じた。今回の工程は午前中に終わるくらいのテンポで行えるのが理想だそうだが、まだまだ練習が必要だ。動きの優先順位を考え、次の支点の準備など随時先を見て行動し、ロスタイムを極力少なくするよう動くこと。そして、なにをおいてもまずはセルフビレイまた、動作はせかせかせず一回で確実に決める。等々注意点はたくさんある。今回は人数が多くなかった為、各自役割があり、濃い練習内容になったのではないかなと思う。引き揚げ・引き降ろしも3×3のチームで十分対応可能だった。すべてが初めての事だったが、全体の流れがなんとなく把握できた。次回はもうすこしスピーディーに動ければ良いのだが…。

